

会 議 録

会議等名	平成30年度第2回富士見市歯科口腔保健推進委員会
開催日時	平成31年2月6日(水) 午後1時30分～3時00分
開催場所	富士見市健康増進センター 研修室
出席者名	委員：小柳 聡委員長、三木 とみ子副委員長、大里 信子委員 日下部 菜穂美委員、是永 國彦委員、渋谷 善行委員、 長堀 厚子委員、原田 由美子委員、武藤 敦委員 事務局：大森健康福祉部長、望月課長、山崎副課長、相原副課長 村井主査、小林主査、平主査、矢島主査、松倉、駒林、小畑
欠席者名	委員：伊垣 容子委員、増田 義則委員、松田 順子委員
傍聴者	0名
議事内容	
1 開会	
2 委員長あいさつ(小柳委員長よりあいさつ)	
3 議事 (富士見市歯科口腔保健推進委員会条例 第6条第2項により、委員の過半数の出席があるため、本日の委員会が成立することを報告された。)	
(1) 歯と口腔の健康に関する事業の取組み状況について	
事務局 委員長 委員	資料説明 歯と口腔の健康に関する事業の取組状況について、意見があれば伺いたい。 資料2の仕上げ磨きや適切な間食回数ほどのくらいととらえて数値をだしているのか。
事務局	適切な間食回数は、1歳6か月児では1日2回、3歳児5歳児では1日1回を適切と数えている。仕上げ磨きは、「保護者が食後歯を磨いていますか。」という質問で、「みがいている」、「みがいていない」という回答のため、回数での集計ではない。
委員	資料1の学齢期「給食後の歯磨き」で平成27から28年度は中学校が3校実施していたが、平成29年度実績で中学校が2校になってしまったのは残念な結果と思うが、なぜやらなくなったのか。
事務局	歯科保健所状況調査の結果より、給食後の歯磨き指導はしていないという回答である。
委員長 事務局 委員	それは具体的にはどういう質問なのか。 給食後の歯磨きの実施の有、無を回答する質問である。 中学校で1校減ったということは調査様式の変更や回答方法の変更による影響ではないということか。

委員長	学校側が歯みがきの時間を設けてないため、「やっていない」と回答することと、生徒全員が実際にやってないこととは中味が違う。
委員長	市内の小中校は何校あるのか。
事務局	小学校 11 校 中学校 6 校、特別支援学校の 18 校である。
委員	「小学校 11 校中何校が実施」という標記のほうが比較しやすいのではないか。実施していない学校はだいたい決まっているのか。
事務局	同じ小学校がやっていない。
委員長	小学校 1 校がやっていないということだが、どこの小学校か。
事務局	つるせ台小学校である。
委員	せめて小学校は全校やってほしい。
委員長	小学校は習慣づくりをするために一番重要な時期である。
副委員長	たとえば委員長が言ったように、学校全体で取り組めるよう組織的になってやってもらいたい。県下の実施率の平均は把握しているか。
事務局	こちらでは把握していない。
委員	県の 12 歳児のむし歯と比較して、富士見市の 12 歳児の虫歯の結果がよくないようなら働きかけるきっかけになるかもしれない。
委員	幼稚園、保育所は全園歯科健診やっているのか。
委員長	歯科健診は幼稚園保育所公立私立含めて全部やっている。健診を行い、虫歯になっている子には必ず治療勧告をしている。幼稚園で虫歯になっている子はほんの数人だが、小学校に入るまでこのまま虫歯を保有している。小学校に入ってから学校側から保護者の方に話していただくが、なかなか治療に行ってくれない方が多い。どうしたら行ってもらえるのか小学校含めて悩んでいる。
委員	眼科や耳鼻科など、全般的に健診結果のお知らせをしているが、治療勧告は治してくださいくらいの優しい言い方である。
委員長	歯科の方でも治療が必要であればもっと強く言ったほうがいい。
委員	そうですね。結果が最終的に戻るのだが、そこでは虫歯何本とかそれぐらい。
副委員長	公立保育所は給食後の歯磨きをしているのか。
事務局	食を通じた普及計画ということで、口腔衛生と食についての普及啓発は実施している。
副委員長	歯科保健指導も保育所でやっている。熱心な親は家庭で食後に仕上げ磨きをしてあげていると思うが、幼児期に習慣を形成すると小学校になっても習慣化すると思う。せっかく公立保育所 6 か所でやっているの歯磨き指導につながってほしいと思う。中学校はセルフコントロールで自分でやると思うが、やはり時間を設けてあげると全然違ってくる。
委員長	保育所でブラッシング指導は歯科衛生士が行っているのか。
委員	公立は歯科衛生士は入っていない。保健師、看護師がやっている。
委員長	私立幼稚園では園医がいるので、ブラッシング指導は園医の先生によってやる、やらないがある。
(2) 富士見市の歯科口腔保健の推進について (意見交換)	
委員	昨年末の朝霞保健所の会議で、埼玉県の子どもの口の現状について話があり、子どもの虫歯が減っていて喜ばしいことではあるが、減るほど虫歯のひどいお子さんとの格差が広がっているという話があった。市外の 1 才半健診では虫歯が 9 本あるお子さんがおり、口の中の状況も悪い。しかし、保護者には歯医者

委員	<p>に連れて行く力がないようにも見受けられ、その後も歯の中の悪い状況が続くのかなと思う。小学校中学校に上がると、家庭に任せるしかないという話が出たが、家庭では難しいからそのような格差がでるとするのは感じる。必要などころにはきちんと行政が対策をたてていく事が重要だと感じている。</p>
委員	<p>歯科健診で虫歯のある子には、治療勧告をしている。一人で何本も虫歯をもっている子もいて、虫歯の多い子に対してどういった対処をしていったらいいのか。6月に歯の健康診断を行い1度治療勧告をする。また11月末くらいに治療していない子に対してもう一度状況を知らせてもらうよう、返事の必要な手紙を出している。予約を取ったなどの返事が来ることもある。虫歯があった子がやっと治療にいつてくれるようになったと感じている。</p>
委員	<p>転倒予防寝たきり予防のサークルで活動している。最近テレビで歯周病と認知症の関係がとりあげられているので、みんなの合言葉で月1回あるいは2回定期健診で歯医者に行こうと言っている。一割負担の人が多いので400、500円で歯石もとってくれるので行く人もだいぶ増えてきたと思う。全員定期健診をうけるようにしていきたい。</p>
委員	<p>このような計画があり、虫歯は減っていると思うがゼロになっていないのが現実。歯磨きだけでは届かない部分があるので、フロスの使用やフッ素の使用をすすめる。するとある程度虫歯は減っていく。そして、食事の内容が大切というのは最近よく言われている。スポーツ飲料はかなり糖が多く、飲みすぎは虫歯の原因になる。また、フッ素洗口や塗布をやっているからと言って何を食べてもよいというわけではない。フッ素は非常にいいとは思いますが、フッ素に頼り切るのもよくない。フッ素は小さい時から始めていけば、親にも普及しやすいのではないかと考えている。</p>
委員	<p>子どもたちに歯磨きの習慣をつけてほしいし、歯みがき習慣のない学校は行政がお声掛けするなどそれくらいのことにはしていただきたい。食生活改善推進員として、料理教室の試食後にワンポイントアドバイスをするのだが、歯のことを話したこともある。</p>
委員	<p>年配の方で自分の歯が20本あってきちんと食べられている方は、低栄養にもならない。市でも食育と併せて指導しているようだ。3才児と比べると11才児の虫歯は多くなる。こうしたことを、市内がどういう状況か把握し、県や国と比較できるといいのではないかと。保健所の会議の中で、健康格差が課題となっており、なかなか治療等ができない子たちの歯の健康を引き上げていくためにはどうしたらよいかという話し合いがあった。やはり生涯を通じて小さいころから歯磨きができるような仕組みづくり、手法を考えていかなければと思う。</p>
委員長 副委員長	<p>ありがとうございます。</p>
委員	<p>子どものうちから、親や幼稚園、保育所の人たちが食後の歯磨きを大事にしていると思うが、教育の一環としてつながっていければ良いと思う。おそらく、給食後の歯磨きの時間があるなしにかかわらず、食事の後に口をきれいにするという事を指導する必要があると思う。中学校高等学校では歯周炎にスポットを当てる必要があるのかなと思う。教育というキーワードと管理というキーワードをつなげていくと、生涯間断なく続けていけるのではないかと。同時に、歯は食事と非常に関係するので、食事や運動も含め、健康全体の中の歯科という位置づけも大事だと思う。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。歯周病はアルツハイマーや心臓病、その他様々な疾患と関連ある。今後、医師会と連携していきたいと考えている。4月から、中学校全校で保健指導、ブラッシング指導をやることに決定した。小学校中学校は</p>

	すべてやれるようになると思う。
(3) 今後の予定について	
事務局	市の健康づくりをすすめるための計画として健康増進計画・食育推進計画と歯科口腔保健推進計画がある。2本の計画に分かれてはいたが、共通の目的をもつ計画として一体的な進行管理に努めてきた。両計画が平成32年度に中間評価見直しの時期を迎える。この時期をとらえ、2つの計画と審議会を統合し、より相互性を高め、一体的に進行管理することで市民にとってわかりやすく、実践しやすい計画にしたいと考えている。今後ともご協力をお願いする。
委員長	質問はあるか。
委員	(質問なし)
委員長	ありがとうございます。食べる力は生きる力という。ほんとに食べることは一番重要だと思う。
副委員長	この会に長く関わってきたが、充実した内容と審議経過であった。健康増進計画との一体的な進行管理の中で成果が健康全体の中の歯の健康づくりとして凝縮されているのかなと思う。大変意義深い委員会であったと思う。今日は本当にいろいろとご意見いただき、ありがとうございました。本日はこれをもって会を終わりにしたいと思う。
委員	ありがとうございました。